

膀胱全摘除術及び回腸導管造設術(ストーマ)(ロボット支援下含む)を受けられる()様へ 入院中のスケジュールです。

説明日(/ /)		説明者氏名(/ /)		STP1400210(部分)							
月日(日時)	/ ~ /	/	/	/	/	/	/	/	/	/ ~	
経過(病日)	入院日～手術2日前	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目
達成目標	◇手術に対し理解できる ◇不安を表出できる ◇手術に向けて心身の準備・物品の準備ができる		◇手術を安全・安楽に受けることができる	◇体温、血圧に問題がない ◇ストーマに問題がない ◇感染、縫合不全がみられない ◇痛みが10点中3点以下でコントロールできる ◇手術の傷の治癒が良好である ◇静脈血栓症の症状がない ◇腸閉塞の症状がない							
処置 注射・内服	医師、看護師が腹部の状態を観察します ストーマを作る場所を決め、印を付けます	入浴前に手術部位の除毛と、 おへそをきれいにします 経腸栄養剤を夕食時に飲みます 寝る前に下剤を内服します	麻酔科の指示で、起床時に 薬を内服する場合があります 朝6時頃、浣腸をします 手術用の寝巻に着替えます 弾性ストッキングをはきます	手術後は、集中治療室で状態観察を行います 点滴を持続的に行います 輸血を行う場合もあります 痛み止めの点滴を行います 酸素マスク、心電図モニターを付けます 状態に応じて酸素マスクを除去します お腹の管、鼻から胃まで管が挿入されています 背中からポンプで痛み止めが持続的に入っています(痛い時は自分でポンプを押すことができます) 医師が創部の観察をします 血栓予防のフットポンプをつけます お腹にストーマの袋がついています	◇座ることができる	◇歩くことができる					※以降の流れは 看護師から説明します
					お腹の動きを促す薬を飲みます	経腸栄養剤を1日3回飲みます					
					お腹の動きを確認して胃の管が外されます ※状況によって抜ける日が変わります	背中ポンプが抜けます 痛みは点滴や飲み薬でコントロールします				状態に応じておなかの管を抜きます	
					フットポンプをはずします 看護師がお腹のストーマ袋の交換を行います						
検査		採血の検査があります		鼻腔と尿の検査をします	採血、レントゲンの検査があります		採血、レントゲンの検査があります			採血、レントゲンの検査があります	
活動・安静	安静制限はありません			翌朝までベッド上安静です 寝返りはできます	看護師と一緒に立つ練習をし 初回歩行時看護師がつきそいます						
安全	患者本人確認のためネームバンドをします ナースコール、ベッド柵を設置します 転倒予防のため、運動靴の使用をお願いします			転倒・転落予防のためベッド柵をします ナースコールを設置します	お腹の管、点滴、採尿バッグ等があり、手術後の痛みもあるので 転倒に注意して下さい 動く際は看護師を呼んでください						
栄養	入院時食事制限はありません 手術2日前から低残渣食が開始となります 病院食以外食べないようにしてください	食事は 昼食まで です 以降絶食です 水分は摂取出来ます	絶食です 水分については医師の指示に従ってください		絶食 です 水分は少量から開始します 1日 400ml です	絶食 です 飲水量に制限はありません	重湯から開始されます	三分粥に変わります	五分粥に変わります	全粥に変わります	
清潔	入浴は可能です 印付けした所が消えないように注意してください	除毛後に入浴してください	洗面をして下さい 男性は髭剃りもして下さい		看護師が身体を拭きます						
排泄			手術前にトイレを済ませて下さい	ストーマから尿が排泄されます 便)ベッドの上で排泄になります	便)トイレに行けます						
説明・指導	病棟案内・手術前オリエンテーションを行います 呼吸訓練・褥瘡予防の説明・指導を行います 手術後の痛みのコントロールについて説明します ストーマについての説明・DVD視聴を行います 社会資源について説明します 薬剤師が内服薬の確認を行います <必要物品> 腹帯2枚 ストロー付きコップ1個 歯ブラシセット ティッシュ1箱 ★必要に応じ、担当の医療ソーシャルワーカーがお話を伺いながら転院・退院までの支援を行います	夕方、麻酔科の医師が診察に来ます(部屋に居て下さい) 手術室の看護師が説明にきます	入れ歯や時計などの金属類は外してください 手術室は総合診療棟4階です ※家族の方は病棟のデイルームでお待ち下さい (手術が終了次第、連絡があります) ※病棟を離れられる際は看護師へお知らせ下さい	手術が終わったら、7階のSICU(集中治療室)へ移動します 手術後、医師より説明があります	手術翌日は、午前10時頃お部屋に戻ります (術後の状況で変更になる場合もあります) 痛みが強い場合は我慢せず看護師へ伝えてください ※呼吸訓練をしましょう 痰をしっかり出して肺を広げ、肺炎を予防しましょう	手術後は積極的に歩行を行い、術後合併症を予防しましょう	元の食事に戻るまでは病院食以外のものは食べないようにしましょう	ストーマパウチ交換の手技について看護師が説明します 一緒にパウチ交換を行いましょ 難しい時は家族さんも交えて行います 気になることがある場合は看護師へ遠慮なく聞いてください パウチが屈曲していないか、ねじれていないか適宜確認しましょう			

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 泌尿器科 西棟7階病棟
2024年7月改訂